

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和7年第3回定例会

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）		
通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1 番	（9）小野恵司	①次期町長選への出馬について ②観光やレジャー等でのマナーやゴミ問題について ③ユネスコエコパークの町としての今後の環境・観光施策等について
2 番	（3）中道剛士	①町の特産品の取組について ②奥伊勢フォレストピア周辺の観光整備について
3 番	（6）米森清裕	①空き家・空き店舗の活用について ②町の賑わい創出について
4 番	（5）岸良隆	①領内橋の活用策について ②国民健康保険の保険者努力支援制度について ③町が制定した大台町ラジオ体操の日はどうなった
5 番	（1）古田廣幸	①熊野街道測量調査と各測量地点の保全・活用状況について ②三瀬谷ダム湖周辺森林整備事業について
6 番	（2）宮田明彦	①近年の夏の猛暑を踏まえた来年度の夏に向けての準備について ②選挙ポスターの掲示板の設置数と場所について
7 番	（7）上瀬ひろみ	①野生鳥獣との共存と対策について ②地域共生社会（住民がお互いに支えあう町づくり）の実現に向けて
8 番	（8）古家大輔	①文化財の保存・活用と伝統文化の継承について

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	9 番	議員氏名	小野 恵司
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①次期町長選への出馬について		3月の一般質問において、「来年2月11日に任期満了を迎える次期町長選に出馬されるのか」の問いに「出馬については時期をみて改めて皆様にお伝えしたい」との答弁でありました。 次期町長選に出馬する意向があるのか伺います。			町長
②観光やレジャー等でのマナーやゴミ問題について		観光やレジャー等での、一部の方のマナーの悪さや、ゴミの放置等が全国で問題となっています。大台町でも残念ながら、ごく一部のマナーの悪い方により、違法駐車やゴミの放置等の迷惑行為が後を絶たず、例年、地域住民の悲しい声が町役場に届いています。また、捨てられたゴミをあさりに、熊等の獣が寄ってくることや、環境汚染、生態系の乱れの恐れもあります。マナーを守っていただくため、町は巡回や啓発をしていますが、なかなか解決が難しいのが現実であります。 全国で問題となっているこのような件について、大台町の現状と課題、対応について伺う。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	9 番	議員氏名	小野 恵司
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
③ユネスコエコパークの町としての今後の環境・観光施策等について		大台町の綺麗で自然豊かな環境は、町の財産であり、大台町民の財産でもあります。この豊かな自然と共生し、維持していくためにも、町民はもちろん、町外からのお客様にもユネスコエコパークの町として、環境保護に共に取り組んでもらえるような制度等の仕組み作りが必要ではないかと考えます。 (1) ユネスコエコパークの町として、誰もが環境保全を気軽に身近に感じてもらう事が重要であります。また、環境を守るだけでなく観光振興を行うこともエコパークの町として取り組んでいくべきことだと考えます。他の自治体でも持続可能な取組の施策として、環境協力金や環境税等を導入しています。こういった取組の必要性について町の見解を伺います。 (2) 「生物圏保存地域」のことを、より親しみを持ってもらえるように日本では「ユネスコエコパーク」と呼んでいます。「自然と人間社会の共生」ができているモデル的な地域のことであり、豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す地域づくりのモデルとして高く評価されたエリアが、ユネスコエコパークに登録されています。次期総合計画の案についての協議で、議員からユネスコエコパークに関する項目に「生物多様性」という言葉やその取組についての記載が入っていないが必要ではないかとの問いに、「担当課が決まっていないので計画には記載しない。」との答弁でした。ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）は、生物多様性の保護等を目的としたモデル地域であり、町の施策として必要だと考えますが、今後の対応と町の見解を伺います。			町長 教育長

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	4 番	議員氏名	中道 剛士
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①町の特産品の取組について		大台町では、数年前までは、原木シイタケ栽培が盛んで町の特産品と言われたそうですが、現在は生産者の高齢化により原木シイタケ栽培は、下火になりました。最近は、ハウス栽培でシイタケの菌床栽培が多いそうです。今後、町の特産品として、シイタケの菌床栽培に取り組むお考えはありますか、お伺いします。			町長
②奥伊勢フォレストピア周辺の観光整備について		(1) 奥伊勢フォレストピアとキャンプ施設は、多くの方でにぎわっていますが、町全体が、ユネスコエコパークに指定されていることを考えると、周辺の市町にない北総門山の魅力を四季を通して、発信してはと思いますが町のお考えを伺います。 (2) 総門山では以前、トレイルランニング競技が開催されたと聞いていますが、今後そのような計画はありませんか。 (3) 北総門山駐車場に設置されている案内看板の地図が、消えているものもありますが、新しく取り換えてはと思いますがいかがですか。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	6 番	議員氏名	米森 清裕
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
① 空き家・空き店舗の活用について		(1) 空き店舗等活用促進事業補助金・空き家改修費補助金のそれぞれの過去の申請の中で、補助金が不交付となった事例の有無についてお伺いします。 (2) 空き家・空き店舗バンクの情報をネットで閲覧すると、物件の所在地が字名までの表示になっています。 番地まで表示しない意図についてお伺いします。 (3) 空き店舗等活用促進事業補助金交付要綱第 3 条第 2 項第 1 号に「補助金以外の経費の全部又は一部について、必ず金融機関の融資を受けていること」と規定されています。 金融機関の融資を受けていることが要件になっている意図をお伺いします。 (4) 空き店舗等活用促進事業補助金・空き家改修費補助金も、同じですが、空き家・空き店舗バンクを利用して契約した物件の改修のみに補助金が交付され、個人間で契約した物件の改修には補助金は交付されません。 この意図についてお伺いします。 (5) 空き店舗等活用促進事業補助金交付要綱第 6 条に「申請者は補助金の交付決定後に事業に着手するものとする」と規定されていますが、この意図についてお伺いします。			町長

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	6 番	議員氏名	米森 清裕
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
②町の賑わい創出について		近年、夜間の飲食店利用とタクシー利用の双方が低下し、負のスパイラルが生じていると感じています。 夜間の飲食店利用者の減少の要因として、高齢化による運転免許証の返納や東西に長い町の地形などの影響により、夜間の移動手段の確保が難しく、飲酒・娯楽をためらう傾向があることが考えられます。その結果、タクシー利用が減少し、営業時間短縮にもつながっている可能性があるのではないかと考えます。 夜間の移動手段の問題が解決すれば、町民や観光客の外出機会も増え、町の賑わい創出や、商工業の発展につながると考えます。 この問題（夜間の移動手段）の解決策および今後の町の賑わい創出に対するお考えをお伺いします。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①領内橋の活用策について		領内橋は 1 9 2 3 年（大正 1 2 年）に竣工。以来、1 0 2 年が経過している。現在は老朽化のため平成 2 9 年から歩行者と二輪車だけが通行できる状況であり、車の通行が制限されている。 公益社団法人 土木学会 鋼構造委員会によると「現存する道路用のピントラスは非常に珍しく、大正期のものでは領内橋のみであるとの調査報告がある。このように貴重な橋であることを踏まえて、三点お聞きする。 （１）領内橋の価値を維持しながら重量制限を設けるなど軽自動車程度の車が通れるように補強することはできないのか。 （２）領内橋の現在の状況は、鉄板床版が腐食しており、塗装の塗り替えなどが必要であると思われる。長く維持するための補修計画の考えはないのか。 （３）大正期の珍しい橋であるという領内橋、また景観の良さを考えると地域資源として活用することを提案する。			町長
②国民健康保険の保険者努力支援制度について		国民健康保険の保険者努力支援制度は、保険者における医療費適正化に向けた取組等に対する支援を行うため、保険者の取組状況に応じて交付金を交付する制度である。医療費の適正化に向けた取組は大切であり、ひいては交付金に繋がる。 本町の保険者努力支援制度における評価点は平成 3 0 年の制度創設以来、県平均より低い。 （１）医療費の適正化に向けた取組をしっかりと前に進めることが重要である。町は現在の取組をよしとするのか。あるいは改善すべき点があると考えているのか。 （２）町の取組を分析することが大切である。また、他市町の状況を参考にすることも一考だと思う。今後の取組について伺う。			町長

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
③町が制定した大台町ラジオ体操の日はどうなった		令和7年第2回定例会でもお聞きしたが改めて問う。町が制定した大台町ラジオ体操の日はどうなったのか。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	1 番	議員氏名	古田 廣幸
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①熊野街道測量調査と各測量地点の保全・活用状況について		(1) 令和 7 年度・8 年度に国の史跡指定に向けて、熊野街道測量調査が行われます。その目的と事業予定を伺います。 (2) 「大台町観光振興計画」の取組方策で「熊野古道伊勢路の保全・活用」を掲げておりますが、この測量地点では具体的にどのような保全活用を推進してきましたか。 (3) 「三瀬の渡し」の安全対策について伺います。 宮川では増水時に上流ダムから放流されます。7 月 17 日の大雨で三瀬谷ダムからの放流があり、川の水位が上下に変化したことにより係留していた船が座礁しました。 今回このような結果になった原因にはどのようなことがあったのか、また安全対策はどのように取られているのか、町の対応を伺います。			町長 教育長
②三瀬谷ダム湖周辺森林整備事業について		(1) 令和 4 年度から始まった事業に「三瀬谷ダム湖周辺森林整備事業」があります。ダム湖周辺の人工林を伐採して広葉樹を植樹することで、保水力の高い災害に強い森に転換する事業とのことでした。この事業目的と現状を伺います。 (2) 「三瀬谷ダム湖周辺森林整備事業」について、令和 7 年 6 月の全員協議会では担当課から、植樹をしたエリアの土地を購入して森林公園として町が管理するとの説明がありました。ただ植樹をしたエリアは、狭小で急峻な地形で町民にとっての憩いの場所には程遠く、公園には適さない場所だと思います。改めて今回の事業の説明を求めます。 (3) 森林公園の維持管理に指定管理者を置いて、年間管理費として 250 万円を、森林環境譲与税を活用するとしていますが、この維持管理の内容を伺います。			町長

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	6 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①近年の夏の猛暑を踏まえた来年度の夏に向けての準備について		近年の夏は異常な暑さになっているが、今後この暑さは異常ではなく恒常になっていく兆しもある。 暑さ対策については、防災施設や今後の学校教育、町の諸行事などにおいて、検討が必要な部分があるように考える。 そこで、今年の夏の様子から感じた来年度への準備の内容を提案する。 (1) 本町には直接関係はなかったが、7月30日に三重県沿岸部に津波警報が発令され、近隣では避難指示のあった市町もあった。これが大台町に関わる災害であったと仮定すると、6月議会でも質問した空調設備がない避難所への避難は、猛暑の中どうなっていたのかと心配になった。 災害はいつ起こるか分からないため、避難所であるB&G海洋センターを含める町内体育館や空調設備が十分ではないと考えられるグリーンプラザおおだいにおける空調設備は早急に備えるべきだと考えるが、前回の答弁も踏まえた上で、避難所の空調設備に関する考えと進捗状況を問う。 (2) プールでの水泳学習を含めた、夏季の学校での体育の授業の暑さ対策について、来年に向けて考える必要があると考える。6月から9月までの屋外での体育の暑さ対策に対して、本年度の体育の授業の様子から見える課題と来年度への配慮を問う。 (3) 子どもたちの下校時間帯は、以前に比べかなり暑くなってきていると思う。日傘の配布を行うなど町は下校時の暑さ対策をしてきてはいるが、まだ足りないと考える。以前、朝持ってきた水筒の中身がない状態で帰宅する児童の姿をみかけたことがある。本年度設置した各校の製氷機を有効活用して、児童の水筒に水道水と氷を入れて下校させることを徹底すべきと考えるが、この考えについてどう考えるか。			町長 教育長

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	6 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		(4) 夏休みのない保育園や夏休みに需要が増す学童保育に関しては、幼児・児童の過ごし方や施設・職員の労働環境への配慮が必要になってくると考える。暑い日々を過ごす幼児や児童の過ごし方や施設・職員の労働環境については、本年度問題はなかったのか。しっかり把握して、問題があるなら、来年度に向けて少しでも早く改善する必要があるが、どのようなことを把握しているか。また、来年度に向けて改善する予定はあるか。 (5) 除草作業などの夏の屋外作業は作業にあたる全ての町職員に大変なリスクがあると考え。そのような作業に対する町の方針はあるのか。あるとすれば、それを全職員にどのように徹底し、どのように把握しているのか問う。 (6) 夏季に行われる水上カーニバルなどの町民が参加する屋外行事は、涼しい時期に行われるように検討が必要になってきていると思うが、町としてどう考えていくか問う。			

令和7年第3回大台町議会定例会 一般質問通告書						
通告順	6 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦	
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨				質問の相手
②選挙ポスターの 掲示板の設置数 と場所について		最近選挙ポスターを見る機会があり、町の掲示板やゴミステーションではなく、急カーブの危険な場所にポスターの掲示板があることに気づいた。近くを調査してみると、数年前には畑であったところが住宅地になり、かなりの居住者がいるのに、ポスター掲示板はあまり人通りのない場所にある区もあった。 そこで、以下について問う。 (1) 令和4年第1回定例会で同僚議員が選挙ポスターの掲示板の削減について質問した答弁で、 「法改正は平成12年度が最後で、合併以降ポスター掲示場のあり方について議論されたことはないので、現状が適切であるかの検討が必要」との答弁があった。その後検討されたのか。 (2) 人口の増減により、ポスターの掲示板の移動や削減は必要と考える。また、掲示板を見るにはふさわしくない場所にあるものは安全な場所に移動することや、総合的に考えた設置数とするよう検討を行う必要があると考えるが、どう考えるか。				町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	7 番	議席番号	7 番	議員氏名	上瀬 ひろみ
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①野生鳥獣との共存と対策について		クマによる人身被害の防止などを目的に「三重県ツキノワグマ保護管理計画」の骨子が三重県から示され、対策が強化されようとしています。また、改正鳥獣保護管理法により 9 月 1 日から「緊急銃猟」が導入され、クマやイノシシなど危険鳥獣が出没した場合、町長の判断で銃器による捕獲が可能になっています。 (1) 三重県が 9 月から導入を予定しているクマの出没位置などを確認するためのアプリの活用など、三重県との連携について伺う。 (2) 「緊急銃猟」を行う場合の対応マニュアルの作成、装備の確保、訓練の実施などはどのように進められているのか。特に、ハンターの安全確保や銃の所持許可取消しへの懸念について問う。 (3) 日ごろから、クマを里地や市街地に寄せない対策も必要であると考え。例えば、ベアドッグの導入、鳥獣害専門職員の育成や鳥獣害に対応する専門組織の必要性について考えを伺う。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	7 番	議席番号	7 番	議員氏名	上瀬 ひろみ
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
②地域共生社会（住民がお互いに支えあう町づくり）の実現に向けて		人口減少と高齢化が同時に進行する大台町でも福祉、医療、教育、子育て、就労などの分野を横断し、地域全体で支える仕組みを再構築し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる町づくりを進める必要があります。 （１）福祉制度の狭間や複数分野の課題を抱える個人や世帯、団体の支援ニーズをどのように各課間、関係機関と共有し支援につなげているのか問う。 （２）子育て世帯を含めた支援を必要とする人々を地域の高齢者などが手助けするような仕組みを作るべきであると考え。「支え手」として地域住民の参画を促進するために、例えば、多世代交流のサロンなどのように地域の“通いの場”づくりを行政が積極的に促進する必要があると考えるが、見解を伺う。 （３）地域共生社会の実現に向けて、「地域福祉計画」の策定と、重層的支援体制整備事業の実施予定について伺う。			町長

令和 7 年第 3 回大台町議会定例会 一般質問通告書						
通告順	8 番	議席番号	8 番	議員氏名	古家 大輔	
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨				質問の相手
①文化財の保存・活用と伝統文化の継承について		大台町には、町指定のほか、県や国が指定する有形・無形文化財、天然記念物、史跡があります。これらの文化財は、町の誇りであり、町民だけでなく県民、そして国民の貴重な財産です。文化財を保存・活用し、地域の伝統文化や歴史を次世代へと継承していくための町の取組について伺います。 (1) 町内の指定文化財は現在、どのように保護されているのでしょうか。直近の支出額も併せて伺います。 (2) 町が指定している文化財などについて、県や国の文化財指定を受けるために取り組んでいることはありますか。また、指定を受けることのメリットと、今後の計画について、町の見解を伺います。 (3) 令和 5 年の基金再編によって旧大台町地域活性化基金は、「ふるさと創生基金」となりました。この基金の残高と目的を伺います。また、本基金を指定文化財の保護・継承に活用することは可能か町の見解を伺います。 (4) 現在指定されている文化財以外にも、町内各地で伝統文化や文化的価値の高い資産が地域の方々によって守られてきました。担い手不足や地域活動の予算不足が課題となるなか、今後の地域文化継承活動への支援について、どのように取り組むのか町の見解を伺います。				町長 教育長